

ひやく しゃく かん どう
百尺竿頭

札幌市青少年山の家便り

第 18 号

平成 24 年 1 月 1 日 発行

札幌市青少年山の家

社会教育専門職 工藤茂広

愛おしむべき自分にめぐり逢える、冬の滝野

冬の滝野を歩いてみませんか。ただゆっくりとした歩みに呼吸を合わせ、どこかに到着するためではなく、ただ遊びとして歩くのです。

日常に疲れ果てた時、ふと滝野の四季に触れ、「ああ、なんでこんな美しい世界があることを忘れていたのだろう」と、自然にうっとり引き込まれていく人たちは少なくありません。そんな滝野はいま、夢のようにきれいな雪原です。

滝野を覆い尽くす白色は心のスクリーン。年のはじめを迎えるたびに、生きてきた折々の想いの影が映し出されます。ただ、3月11日の出来事はあまり大きく、いつまでも、あの日に留まっている自分がいます。

それでも地球は回り続け、生命は季節を紐解いていきます。

※

滝野の自然は、日々の慌ただしさに見落としているものを気づかせてくれます。真っ白な地平に立ち、この一瞬に気づき、自分の息と歩くことに気づき、一步一步を踏みしめる楽しさに気づくことができます。

札幌に住まう方々にとって、雪の上を歩くのは日常のこと。でもそれは、除雪された道を滑って転ばないように歩く、生活上の移動手段。できれば歩きたくない、ましてや除雪されていない道など、と思われる方がほとんどかもしれません。

冬の滝野は、そんな暮らしを越えて冬遊びを楽しめる世界です。もちろん、ゲレンデのスキーを楽しむこともできます。しかし、用意されすぎた遊びの中で、何か物足りないと思ったことはありませんか。

滝野には、スキーが本来もっていた移動手段という機能を遊ぶ“歩くスキー”があります。ゲレンデ同様に用意されたコースですが、下り坂ばかりではありません。重力の快感を、平坦地でも上り坂でも味わえる遊びです。

そして、もっと自由に雪原を歩きたい方のために、“スノーシューハイキング”があります。いわゆる西洋かんじきを履いて木立に踏み入ると、思いがけず野鳥に出会ったり、ウサギやキツネたちの足跡を発見したり、冬ならではの楽しみ方ができます。

※

歩くスキーで、スノーシューで、あるいは靴だけで、ゆっくり歩く。呼吸を合わせながら一步一步を踏み締めるたびに、雪の大地が抱き返してくれます。その秩序にすべてを委ねて立つ時、地球の中心から足裏、頭を真っ直ぐに貫く軸を感じるはずです。

ただ立つためだけに立ってみる。それ以外のあらゆる力みを抜きながら。やがて立っているという意識が薄れ、地球に引き付けられている感覚を得ます。まるで大地にしっかり根を伸ばした周りの木々たちのように。

するといつの間にか、自分が自然に溶け込んでしまっています。まさに、自分が自然の一部であり、自分自身が自然であるという境地に辿り着くのです。不自由から解放され、自然の中にある自由に気づいた自分が、そこにいます。

冬の滝野は、そんな愛おしむべき自分にめぐり逢える、心の空き地です。

ご 報 告

■第2回陶芸教室（12月4日・11日）「気軽に陶芸！フクロウの置物づくり」

参加者から笑顔がこぼれる和気あいあいとした雰囲気の中制作したフクロウは、どれも縁起ものにふさわしく、とても豊かな表情をしていました。

青少年山の家では小学生の体験プログラムとして提供していますが、今回主催事業のテーマとして実施してみて、大人の方も十分楽しんでいただけたらと思います。今後、主催事業及び提供プログラムとして、「陶芸」の可能性を広げていきたいと考えております。



【12月の利用者アンケートより】

○楽しかったのでまた来たいです。

▲館内で少し寒い場所があった。

→ 廊下など暖房の無い場所や、多目的ホールなど広くて比較的寒い場所もございますのでご理解をいただきたく存じます。宿泊室や研修室につきましては、可能な限り暖かい環境の中でご利用いただけるよう努めて参ります。

▲食堂職員の対応が悪い

→ お寄せいただいたご意見を、食堂スタッフを含めて共有し、気持ちよく利用いただけるよう励んでまいります。

【植物豆知識：樹木の凍裂】

みなさんは『凍裂(とうれつ)』という言葉を知っていますか？ 厳冬期に樹木の中に蓄えられた水分が凍り水道管が破裂することと同じ原理で樹木に亀裂が生じることを凍裂といいます。樹木の中に水分が多いと凍裂を起こしやすいので、広葉樹は葉を落とすことで水分を減らし、針葉樹はヤニのような凍りにくい状態に姿を変えて水分を保つのですが、それでも寒さが厳しい時には凍裂を起こしてしまうことがあります。一般に-25度以下になった時に発生すると言われております。凍裂が発生する時には、遠くまで聞こえるものすごい音がするのだそうです。筆者はまだその音は聞いたことはありません。いずれにしても大自然の壮大さ、厳しさを感じさせられるできごとだと思いませんか？



『しらかばの
凍裂らしき痕』

発行者：札幌市青少年山の家指定管理者 財)札幌市青少年女性活動協会

住所 〒005-0862 札幌市南区滝野247番地

電話 011-591-0303 FAX 011-591-0394

URL <http://www.sapporo-yamanoie.jp>